

京都からカッパースグ、テガミダスコーニシマス。
ここにも通信文を記載することができます。 This space is also for correspondence.

2、
あとは、あちこちと小佛ひにしきす、チキンの、まる焼き、おししきやね、園良枝のつりあせ、世話になら、まが、よろこんで居るとつて、よろしく、つてあつて、ト、西沢村、は、よろしく、井上村、宮崎村、みんな、よろしく、ね、おの、午後、に、受取、ました。



M. Tomomura
Kondo yokosaiyo cho.
Kanzasigun
shizublen jopar

カタ
タ
バ
シ
ラ
ハ
外
お
英
字
殿

Mr. Eiji, Tomomura
% Mr. S. Mishizawa
755 pawell st
Vancouver B.C.
Canada

PAR AVION
航空

この郵便物には何物も封入又は添附できません
Nothing may be contained in or attached to this letter.

3

そ、し、この、合、決、の、間、が、先、か、ら、の、手、紙、が、来、た、の、間、に、お、は、い、さ、し、ま、す、
が、ジ、ョ、ー、ギ、ャ、州、へ、帰、る、の、で、と、も、さ、み、し、つ、て、
書、き、あ、つ、た、つ、つ、も、あ、せ、話、に、な、る、と、思、う、と、思、う、
こ、ん、ど、あ、つ、た、合、決、の、お、バ、サ、に、話、し、て、ま、さ、ね、
お、は、い、さ、し、ま、す、
ま、ま、り、

This space is also for correspondence.

ここにも通信文を記載することができます

英治

二十七日朝八時半迄らぬに百ドル受取りました。

安心して下さい。ほんとうに大切なるお金有つたかと思

そました。早速ババが神戸へゆきました。毎日ジョウ

をしながらうきまはるる様でくれるのでせう。体に気を

付けてあげて下さい。この間だから一筆書こう。

と思つて居る所へお送るべく水たのび早速書そ

つるのびです。實は八月十一日の日にそん子や子供三人

送るが京都へおんたがのきました所があつて

子供をつれてどこへも行く事もお出来ず。そん子

も子供と昔に矢張り行く事お出来ず。それから

とババはせつかく京都へ来たのだからとつて

南座を見に行き。五時の汽車で金堂へ帰

りました。多賀丸からおばえんが来たりたら

が子供を連れて行って行こうと思つて居ました。

多賀丸のおばえんも大坂へ。五日の日にはすみを

送る行めんならんから京都へ行くのはしまつ。

しておくとつて。ましたのび子供等味を香ちん

に送る。くれる様には子供をおして。おきましたのび

切兒園に行くべきには帰るべくせう。

多賀丸からは^{（おんた）}おんたさん。すみちん。たみちん

免ちん。おばえんと五人が四五日。来て居ました。

四人は帰りました。おんたさんは二十六日

居ました。のびはママもつかれて。自分書くのにお

そくなつたわや。おんたさん。おんたの月やから

あちこちとしまはるのよ。今年はおんたさん

だう。に^{（おんた）}おんたさんに。すげしくなりま

したのびのびです。送るべくおんたさん。おんた

して儲金のうへ。おんたさん。おんたさん。おんた

おんたさん。おんたさん。おんたさん。おんた

おんたさん。おんたさん。おんたさん。おんた

おんたさん。おんたさん。おんたさん。おんた

おんたさん。おんたさん。おんたさん。おんた